

CLEANING METHOD FOR RECORD

Patent number: JP57003206
Publication date: 1982-01-08
Inventor: AZUMA KOUICHI
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Classification:
- international: G11B3/58
- european: G11B3/58B
Application number: JP19800075098 19800603
Priority number(s): JP19800075098 19800603

Report a data error here

Abstract of JP57003206

PURPOSE: To protect a record for a long period as good as new, by applying a record protective agent after removing dust and motes from the surface of the record with a cleaning liquid. **CONSTITUTION:** A record cleaning liquid consisting essentially of liquid soap and a surfactant is applied over a record to free dust and motes, sticking on the record, from the record surface. Then, after the dust and motes free on the record is wiped out with a fabric-made cleaner, a record protective agent 4 consisting essentially of a solid lubricant and a surfactant with electrification preventive effect and lubrication effect is applied. Then, the protective agent applied over the record is spread uniformly with a fabric-made cleaner. Thus, even a secondhand record is protected as good as new.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-3206

⑤ Int. Cl.³
G 11 B 3/58

識別記号

庁内整理番号
7247-5D

⑬ 公開 昭和57年(1982)1月8日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ レコードのクリーニング法

① 特 願 昭55-75098
② 出 願 昭55(1980)6月3日
③ 発 明 者 東孝一

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内
④ 出 願 人 松下電器産業株式会社
門真市大字門真1006番地
⑤ 代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

レコードのクリーニング法

2、特許請求の範囲

- (1) レコードに付着したゴミやほこり等をクリーニング液により取り除いたのちに帯電防止効果および潤滑効果を有するレコード保護剤を塗布することを特徴とするレコードのクリーニング法。
- (2) 帯電防止効果、潤滑効果を有するレコード保護剤として固体潤滑剤、界面活性剤を主成分としたものを用いることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のレコードのクリーニング法。
- (3) クリーニング液でのレコード掃除およびレコード保護剤を均一に塗布するために布製クリーナを用いたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のレコードのクリーニング法。

3、発明の詳細な説明

本発明はレコードのクリーニング法に関するものであり、その目的とするところはレコードに付着したゴミやほこりをクリーニング液にて取り除

いた後に帯電防止効果、潤滑効果を有するレコード保護剤を塗布し、使い古しのレコードであっても常に新品同等に保護することができるようにすることにある。

一般にレコードクリーナとしては主成分が石けん水などのクリーニング液単体や、油性の潤滑剤、界面活性剤などの単体要素のものや、布製のクリーナなどが主に市販されている。しかし、実際の使用に関しては使い古しのレコードのゴミやほこりをベルベット等の布にて除去するのが常であり、この作業では乾燥した布であると静電気が生じ、ゴミやほこり等がレコードによく付きやすく、とれにくくなるという欠点がある。また、湿式クリーナの場合はレコード音溝にゴミやほこりが入ってしまう欠点がある。また、レコード保護剤においては十分にレコードのゴミやほこりを除去しなければ、その効果は十分に発揮されないという欠点があった。

本発明はこれらの欠点を補い、レコードを長時間新品同様に保護するレコードのクリーニング法

を提供するものである。

以下本発明について実施例の図面と共に説明する。第1図は本発明のクリーニング法を示しており、Aはレコードに付着したゴミやほこりを防止するためにクリーニング液を塗布する過程、Bはクリーニング液の塗布によりレコード上に遊離したゴミやほこりをめぐり取る過程、Cはゴミやほこりを除去したレコード上にレコード保護剤を塗布する過程、Dはレコード上に塗布したレコード保護剤を均一にのばすための過程である。

上記の過程Aでは第2図aに示すように石ケン水や界面活性剤を主成分としたレコードクリーニング液1をレコード2上に塗布し、そのレコード2上に付着したゴミやほこりをレコード表面より遊離することができるものを使用する。上記の過程Bでは第2図bに示すように上記の過程Aでレコード2上に遊離したゴミやほこりを布製のクリーナ3でめぐり取って除去する。上記の過程Cでは第2図cに示すように上記の過程Bでゴミやほこりを除去したあとのレコード2上に帯電防止効果、

潤滑効果を有するレコード保護剤4を塗布する。

このレコード保護剤4としては固体潤滑剤と界面活性剤を主体としたものが有効である。上記の過程Dでは第2図dに示すように上記の過程Cでレコード2上に塗布したレコード保護剤を布製のクリーナ5で均一に塗布するのである。

このようにクリーニング液1とレコード保護剤4をキットにすれば、使い古しのレコードであっても新品同等のレコードとして保護することが可能である。

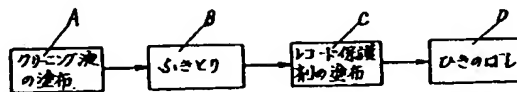
以上のように本発明によれば、レコード上に付着したゴミやほこりをクリーニング液により除去したのちにレコード保護剤を塗布するようにしたので、使い古しのレコードであっても新品同様に保護することができるものである。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明のクリーニング法の工程図、第2図a～dは同法における各工程の説明図である。

1 ……クリーニング液、2 ……レコード、3, 5 ……クリーナ、4 ……レコード保護剤。

第 1 図



第 2 図

